

# 第7回 『川への思い』 優秀賞作品集



主催：阿賀川・川の達人の会

後援：国土交通省阿賀川河川事務所

（社）北陸建設弘済会

# 第7回『川への想い』優秀賞作品

## - 目次 -

### 児童の部 俳句・川柳の部門

会津坂下町立坂下小学校	杉原 良瑳	.....	1
会津坂下町立坂下小学校	五十嵐涼花	.....	1
会津坂下町立坂下小学校	佐藤 藍子	.....	1
会津若松市立城西小学校	中島 晴香	.....	1
会津若松市立城西小学校	長谷川和希	.....	1

### 児童の部 詩の部門

会津坂下町立坂下小学校	堀 恵里花	.....	2
会津坂下町立坂下小学校	蓮沼明日香	.....	4
会津坂下町立坂下小学校	横田 剛志	.....	6
会津坂下町立金上小学校	吉田 祥子	.....	7
会津坂下町立金上小学校	赤城 愛	.....	9

### 児童の部 作文の部門

会津坂下町立坂下小学校	江川 昂志	.....	10
会津坂下町立坂下小学校	上竹原彩花	.....	12
会津坂下町立金上小学校	穴澤 仁恵	.....	15
会津坂下町立金上小学校	成田 瑞穂	.....	17
会津坂下町立金上小学校	長谷川将之	.....	19
会津美里町立本郷第二小学校	岩本 沙輝	.....	21
会津美里町立本郷第二小学校	山田 佳奈	.....	23

# 優秀賞

児童の部 俳句・川柳の部門



# 優秀賞

児童の部 詩の部門















阿	が	き	阿	一	大	阿	そ	き	い	阿		き	こ	コ	小	魚	ヒ	流	き
賀	ん	れ	賀	生	事	賀	れ	れ	つ	賀		れ	ろ	ロ	石	が	ラ	れ	れ
川	ば	い	川	け	に	川	は	い	も	川		い	が	コ	は	泳	ヒ	て	い
は	っ	に	が	ん	し	を		な		が		だ	る	コ		い	ラ	て	に
き	て	な		命	て			理				な	よ	コ		で			
れ	い	る			い			由						コ		る			
い	る	よ			る									コ					
な	か	う			人									コ					
ん	ら	に			た									コ					
だ					ち									コ					
					が														



# 優秀賞

児童の部 作文の部門



								た	水		っ	し	で	く	人	よ	つ	け	一	生	い
								い	生	ま	た	た	も	に	の	く	ず	ら	生	生	ま
								で	昆	た	、	も	、	い	先	見	ら	れ	物	物	し
								す	虫	、	川	。	、	な	生	て	れ	ま	や	や	た
								。	を	川	の	川	今	な	に	ら	ま	せ	、	、	。
									み	の	勉	日	か	な	聞	し	ん	水	水	そ	
									つ	達	強	が	っ	な	い	で	せ	せ	し	し	
									け	人	に	、	た	な	て	ん	い	い	て	。	
									た	の	の	た	の	な	み	で	し	。	。	。	。
									り	で	な	で	。	。	よ	。	。	。	。	。	。
									、	。	。	。	。	。	う	。	。	。	。	。	。
									川	。	。	。	。	。	と	。	。	。	。	。	。
									の	。	。	。	。	。	思	。	。	。	。	。	。
									お	。	。	。	。	。	い	。	。	。	。	。	。
									勉	。	。	。	。	。	ま	。	。	。	。	。	。
									強	。	。	。	。	。	し	。	。	。	。	。	。
									を	。	。	。	。	。	た	。	。	。	。	。	。
									し	。	。	。	。	。	が	。	。	。	。	。	。
									て	。	。	。	。	。	、	。	。	。	。	。	。
									み	。	。	。	。	。	近	。	。	。	。	。	。
									や	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。



た	し	少	ぐ	っ	と	「	人	せ	の	よ	石	「	て	め	ご	川			
。	持	し	い	て	言	石	の	ん	が	ー	の	さ	い	て	う	に			
	つ	し	入	も	い	の	先	で	初	く	下	あ	ま	だ	せ	行			
	と	よ	れ	ら	ま	の	生	し	め	く	や	出	っ	っ	せ	き			
	、	ご	て	い	し	に	が	た	て	み	、	発	た	た	ら	ま			
	ア	れ	い	ま	た	、	、	。	な	さ	川	！	。	の	ぎ	し			
	カ	い	た	し	。	な		。	に	が	の	「	で	。	公	。			
	く	た	の	た	わ	か		、	い	し	流	す	、	園	園	最			
	て	の	で	し	た	い		つ	る	の	れ	べ	す	「	初	初			
	ひ	、	、	は	は	る		か	よ	近	に	ら	い	で	行	行			
	げ	水	水	、	あ	！		み	！	く	そ	な	か	。	つ	つ			
	の	中	中	あ	み	「		を	。	に	っ	い	、	。	た	た			
	あ	に	に	み	を			わ	。	て	て	川	。	。	川	川			
	る	入	入	し	た			た	。	こ	泳	持	。	。	は	は			
	魚	れ	れ	た	。			、	。	と	い	っ	。	。	、	、			
	が	て	て	。	。			川	。	が	い	て	。	。	「	。			
	見	す	す	。	。			の	。	で	る	、	。	。	ほ				
	え	こ	こ	。	。			た	。	き	魚	、	。	。	ん				
	ま			。	。			た	。	ま	を		。	。	な				
	し			。	。			つ	。	た			。	。	。				

宮	体	て	ま	ま	「	で	ド	ど	回		と	ま	を	ピ	に	き	が	ザ	
古	が	み	え	し	ヒ	て	ン	気	目	次	っ	し	、	タ	カ	ま	は	「	そ
橋	太	ま	た	た	ラ	き	ド	を	な	に	て	た	ぼ	ッ	ラ	な	で	れ	
で	い	し	と	。天	タ	ま	ン	つ	の	行	も	。°	う	と	カ	れ	し	は	
は	「	た	、	野	ド	し	と	け	で	っ	お		で	く	ラ	。°	た	、	
、	フ	。°	友	先	ロ	た	け	て	川	た	も		つ	っ	と	川	と	°	
フ	ク	あ	だ	生	ム	。°	る	入	に	所	し		っ	っ	か	か	、	赤	
ク	ド	み	ち	が	シ	あ	と	り	入	は	ろ		っ	っ	わ	ら	ピ	く	
ド	ジ	の	が	「	「	み	。°	ま	る	、	か		く	っ	いた	き	チ	て	
ジ	ヨ	中	い	フ	」	の	「	し	時	宮	っ		と	い	し	し	ャ	7	
ヨ	ウ	に	っ	ク	」	中	ト	た	は	古	た		カ	ま	べ	べ	ピ	「	
ウ	「	は	て	ド	」	を	ビ	。°	少	橋	で		サ	した	に	に	チ	1	
が	が	、	いた	ジ	」	よ	ケ	宮	し	で	す		ッ	。°	あ	あ	ャ	0	
み	い	1	た	ヨ	」	く	」	古	な	。°			カ	そ	が	あ	と	cm	
れ	ま	0	の	ウ	」	み	」	橋	れ	こ			サ	の	ら	る	音	く	
て	し	cm	で	ウ	」	た	」	で	て	ん			ッ	ぬ	が	と	が	ら	
よ	た	く	み	「	」	ら	」	は	い	ど			と	け	石	き	き	の	
か	。°	ら	に	を	」	小	」	、	た	は			音	が	に	こ	こ	「	
っ		い	い	つ	」	さ	」	石	け	二			が	ら	、	え	え	ア	
た		で	っ	か	」	な	」	を	れ				し	ら	石	て	て	カ	





川は、つめたくて気持ちが悪かったです。	す。	たいです。または、魚もいっぱいいた	たいです。そして、水生生物をいっぱい	つてしまおうのでこれからは、川をきれいに	ごれると海もよごれて、水生生物もいなくな	川は、海にもつながっているの、川がよ	の名前も種類も分かりました。	いることが分かりました。そして、水生生物	私は、川の流れの強い所でも魚や川の虫が	いの種類しかありませんでした。	かったです。だから、三びきから五ひきくら	るぬま川です。つるぬま川は水が少しきたな	とくに、水生生物がすくなかったのは、つ	物が分かってよかったです。	ていませんでした。でも、いろいろ水生	思いました。でも、パソコンにも本にもものつ	まごがありました。そのたまごを調べようと	くなかったです。それに、石にへんな黒いた	キレイな川とくらべると、大変水生生物がす
---------------------	----	-------------------	--------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------------	----------------------	---------------------	-----------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------	--------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

を	動	か	さ	な	い	で	水	を	お	し	り	か	ら	出	し	て	ジ	エ	ッ	
ふ	し	ぎ	に	思	っ	た	事	は	、	コ	オ	ニ	ヤ	ン	マ	は	、	足		
と	思	っ	た	り	し	ま	し	た	。°											
同	じ	な	の	か	な	？ 」														
こ	の	プ	ラ	ナ	リ	ア	は	、	テ	レ	ビ	で	見	た	時	の	と	、		
レ	ビ	で	見	た	こ	と	が	あ	り	ま	し	た	。°							
め	て	し	り	ま	し	た	。°													
め	て	し	り	ま	し	た	。°													
て	も	切	っ	て	も	頭	や	し	っ	ぽ	が	出	て	く	る	こ	と	が	初	
の	た	ま	ご	が	あ	っ	た	事	と	、	プ	ラ	ナ	リ	ア	は	、	切	っ	
	初	め	て	知	っ	た	事	は	、	石	の	う	ら	に	小	さ	い	黒	色	
と	、	ビ	ッ	ク	リ	し	ま	し	た	。°										
こ	阿	賀	川	は	、	こ	ん	な	に	水	生	生	物	が	い	る	ん	だ	。°	
カ	ワ	ゲ	ラ	を	見	つ	け	て	、											
を	ワ	ク	ワ	ク	し	て	い	ま	し	た	。°		私	は	、	ト	ビ	ケ	ラ	
水	生	生	物	の	い	る	所	を	聞	い	て	、	み	ん	な	さ	が	す	の	
と	、	思	い	ま	し	た	。°													
こ	阿	賀	川	に	水	生	生	物	は	い	る	の	か	な	？ 」					
	阿	賀	川	に	初	め	て	入	っ	た	時	に	、							
										金	上	小	学	校						
															成	田				
																		瑞	穂	

			ト	ふ	ん	し	ゃ	み	た	い	に	泳	ぐ	事	が	ふ	し	ぎ	に	思	い	ま	
			し	た	。																		
			す	ご	い	と	思	っ	た	こ	と	は	、	ト	ビ	ケ	ラ	の	巢	で			
			私	は	、																		
			、	ト	ビ	ケ	ラ	も	石	の	上	で	生	活	し	て	い	る	の	か	な	。	
			と	、	思	っ	た	け	ど	ト	ビ	ケ	ラ	は	、	石	の	う	ら	に	小	さ	
			い	石	な	ど	を	は	っ	て	巢	を	作	っ	て	い	た	の	で	す	。	私	
			は	、	ト	ビ	ケ	ラ	の	所	を	、	頭	が	い	い	ト	ビ	ケ	ラ	、	だ	
			と	思	い	ま	し	た	。														
			阿	賀	川	に	洪	水	が	あ	っ	た	こ	と	も	知	り	ま	し	た	。		
			そ	し	て	阿	賀	川	は	、	荒	海	山	か	ら	流	れ	て	き	て	、	そ	
			こ	か	ら	二	百	十	キ	ロ	メ	ー	ト	ル	流	れ	て	行	く	と	、	新	
			が	た	県	に	出	る	事	も	知	っ	て	よ	か	っ	た	で	す	。			
			阿	賀	川	は	、	き	れ	い	な	川	で	、	水	生	生	物	も	た	く		
			さ	ん	す	ん	で	い	る	こ	と	が	分	か	り	阿	賀	川	の	事	が	、	
			い	っ	ぱ	い	分	か	り	ま	し	た	。										
			こ	れ	か	ら	も	、	川	な	ど	を	き	れ	い	に	し	て	、	水	生		
			生	物	が	住	め	る	よ	う	な	川	に	し	て	あ	げ	た	い	で	す	。	

し、水道から出ていることが分かり、大事に	飲み水も、阿賀川の水をくんで、きれいに	ことも分かりました。	川の流れで石がけずれて、丸くなっただという	くは不思議に思っていたが、それは阿賀	阿賀川の石は、ほとんど丸かったので、ぼ	うまくみんなに伝えることが出来ました。	た。何度も阿賀川に行って調べてきたので、	つのグループに分かれて、学年発表をしました	ぼくたちは、調べたことをもとにして、三	かり、ほっとしました。	時は、阿賀川の水がきれいだということが分	つかまえて、阿賀川の水のきれいさを調べた	川の達人の人にあみを借りて、水生生物を	びっくりしました。	ことを知りました。石の下に何びきもいて、	りました。そして、川の中にいる水生生物の	ぼくは、四年生になって初めて阿賀川に入	金上小学校	長谷川将之	初めての阿賀川
----------------------	---------------------	------------	-----------------------	--------------------	---------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	-------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------	----------------------	----------------------	---------------------	-------	-------	---------



しようと思いましたが、  
でも、その川の水が、ポイ捨てされている  
あきかんやペットボトルなどできたなくなっ  
ているのが問題になっ  
ているので、ぼくは、  
そうゆうごみを捨てないよう  
にしたい、捨て  
られていたら拾おうと思  
いました。  
ぼくは、阿賀川の事を調  
べて、川の達人と  
いう人たちがいることを  
知って、さらにその  
人たちといっしょに水生  
生物のこと、川のこ  
となどをくわしく知るこ  
とができてよかったです  
です。それに、阿賀川はど  
こが源流なのか、  
何キロメートルか、流れて  
いくところどこにたど  
りつくのか、という、全  
く分からなかった、  
むずかしいことも、阿賀  
川のことを調べること  
で、知ることができたか  
ら、発表でもみんなに  
伝えられたのだと思  
います。  
ぼくは、阿賀川が、身近  
にあるきれいな川  
であることをほこりに思  
っています。これか  
らも、ぼくたちの力で阿  
賀を守っていきたい  
です。



けど、氷玉川は、昔「あばれ川」と言われていて橋をこわしたりして、そんなふうにならないうようにダムを作ったり、コンクリートでかためたので昔ダムを作った人は、すごいなと思います。

わたしは、前にじいちゃんから、五、六十年前の氷玉川（中流）について教えてもらいました。昔氷玉川には、ボヤ、カジカ、ウナギ、ヤツメウナギ、ナマズ、サワガニ、サンショウオなどが川にいたそうです。あと、カワセミ、カワガラス、カワネズミもいたと聞いてわたしは、昔の川は、とてもきれいだっ

たと思います。川がきれいだっただけ、お正月の行事でわか水くみをしてお茶にして飲んだそうです。

今の川は、少しずつきたなくなっているの

でわたしができることをやって川をきたなく

しないようにしたいです。

い		が		水	ト	ウ	の	の		と	合	川	氷	ら		分			
し	ま	あ	中	が	ン	オ	水	は	そ	が	流	、	玉	始	そ	わ			
を	ず	り	流	き	ボ	や	温	ば	れ	分	し	赤	川	ま	れ	た			氷
や	最	ま	の	れ	な	サ	は	ー	か	か	て	沢	は	っ	は	た			玉
っ	初	す	た	い	ど	ワ	十	メ	ら	り	、	川	、	て	、	こ			川
た	に	°	ん	い	の	ガ	一	ー	、	ま	阿	、	と	、	こ				を
ら	、		けん	なん	虫	ニ	度	ト	氷	し	賀	佐	ち	ど	に				たん
、	パ		をし	だ	が	、	で	ル	玉	た°	野	賀	沢	こ	行				けん
7	ツ		まし	と思	いま	カ	した°	七	川	°	川	瀬	か	く	の				をし
.	ク		した、	いま	した°	ワ	それ	十	の上		と	川	ら	か	か				て
0	テ		、	まし	な°	ゲ	から	セ	流		阿	と	始	と	た				を
ゝ	ス		分	した°	の°	ラ	、	ン	で		賀	阿	ま	い	氷				して
7	ト		かつ	た°	ので	、	ウ	チ	す°		川	と	っ	う	玉				
.	へ		た	°	上	ズ	ズ	メ	上		と	6	て、	こ	川				
5	水		こと		流	ム	ム	ー	流		つ	藤	、	こ	川				
で	し				は	シ	シ	ト	は		の	川	ど	と	宮				
中	つ				、	、	、	ル	、		川	と	こ	す°					
性	そ				、	ヘ	サ	で	川		と	宮	か	。					
で	くて				、	ビ	ン	、	川		こ								
し								川											

